

## 安全データシート

改訂日2017年2月10日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: 酸化ユウロピウム
会社名	: チカモチ純薬株式会社
住所	: 大阪市北区大淀南1-9-16(山彦ビル)
担当部門	: 営業部
電話番号	: 06-6453-2062
FAX番号	: 06-6453-2063

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	
火薬類	: 区分外
可燃性固体	: 区分外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
酸化性固体	: 区分外
健康に対する有害性	
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 酸化ユウロピウム
化学特性(示性式)	: $\text{Eu}_2\text{O}_3$
CAS番号	: 1308-96-9
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: 1-679
化学物質管理促進法	: 非該当
労働安全衛生法	: 公表
毒物劇物取締法	: 非該当

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。  
必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

## 皮膚に付着した場合

汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ、直ちに製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら石鹼を使ってよく洗浄する。

## 目に入った場合

直ちに清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。  
洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせてはならない。

水で口の中を洗浄し、直ちに医師の処置を受ける。

#### 応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグル等の保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。水噴霧が最適。

#### 消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

周囲の設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

#### 消火を行う者の保護

消火活動は風上より行い、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

#### 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

#### 封じ込め及び浄化の方法・機材

真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

技術的対策(局所排気・全体排気等)

取扱いは、換気の良い場所で行う。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行なうための設備を設置する。

発散した粉塵を吸い込まないようにする。

取扱いの都度、容器を密栓する。

眼、皮膚、衣類に付けないこと。

取扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取扱う。

#### 衛生対策

保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

保護手袋および保護眼鏡・保護面を着用すること。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、漱をする。

#### 保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。

取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

### 許容濃度

データなし

### 保護具

呼吸器の保護具：防塵マスク、簡易防塵マスク

手の保護具：保護手袋

眼の保護具：保護眼鏡(ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具：保護服、保護長靴、保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など) : 白色～淡赤色の結晶性粉末

臭い : 無臭

pH : 知見無し

融点・凝固点 : 知見無し

沸点、初留点及び沸騰範囲 : 知見無し

燃焼性(固体、気体) : 無し

比重(相対密度) : 知見無し

溶解度 : 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 常温常圧で安定

化学的安定性 : 通常のと扱条件において安定である。

危険有害反応可能性 : 知見無し

避けるべき条件 : 混触危険物質との接触。

混触危険物質 : 報告なし

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 知見無し

発がん性 : 記載なし

## 12. 環境影響情報

データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後処分する。

#### 14. 輸送上の注意

- 国内規制 : 適用法令なし  
国連分類 : 該当しない  
輸送の特定の安全対策 : 直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめる。落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

#### 15. 適用法令

- 消防法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
労働安全衛生法 : 非該当  
PRTR法 : 非該当  
輸出貿易管理令 : 非該当

#### 16. その他の情報

##### 詳細情報

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の手配り方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもあります。いかなる保証をなすものでもありません。